

ケア現場

話題の



専門職配置 手厚く

リハビリの質高める

ハートケア市川



荒木美智代
リハビリ科長



◀階段の昇降訓練の様子

介護老人保健施設ハートケア市川（千葉県市川市）は5月、在宅超強化型を取得した。

PT、OT、STなどのリハビリ専門職を多く配置することで、ケアの質向上に注力。

同施設は現在、PT 4名、OT 11名、ST 4名が所属。特にSTを多く配置することで、ミールラウンド（食事観察）や嚥下力（食事観察）の際、利用者の食事に関する問題について、より多角的な視点から解決方法を探れるという。また、職員にとっても有休や産休・育休などの長期休暇を取得しやすい環境となっている。

同施設では在宅復帰を想定したりハビリも徹底。施設が立地する地域では坂道が多いことから、段差や階段の昇降訓練などを積極的に行っている。

同施設は、災害時の二次避難所としても指定されている。

さらに、利用者の意欲を高められるよう、やりたいことや行きたい場所などをヒアリングし、その希望を叶えられるようなプログラムも考案している。

「リハビリの効果を高めるには本人の気持ちがとても大切です。旅行に行きたいという希望であれば、交通手段や訪れたい施設の休館日、ホテルや現地の美味しい食べ物なども調べ、モチベーションを高める工夫をします。実際に旅行を実現できました」（リハビリ科 荒木美智代科長）

＜事業所概要＞

名称：ハートケア市川
 類型：介護老人保健施設
 定員：120名
 事業主体：上尾中央医科グループ 医療法人社団 哺育会
 住所：千葉県市川市奉免町